

令和7年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立仲六郷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ スーパーや市場見学等を通して、実際に見たり聞いたりしたことが児童の主体的な学習につながった。(3年)
- ・ 児童の「知りたい」「探したい」という意欲を尊重しながら課題を設定することで、主体的な学習に導くことができた。(3年)
- ・ 教科書の資料やインターネットから見つけた資料を精選して活用する機会を設けたことで、児童の関心・意欲を高めることができた。(4年)
- ・ 単元の導入では、こどもたちの生活経験から予想を立てたり、疑問から学習課題をつくったりすることで、学習が自分事となり主体的な学習となった。(4年)
- ・ 単元や毎時間のまとめにおいて、学習内容に対する自分の考えを豊かに表現することができるようになった。(5・6年)

(2) 課題

- ・ 情報を整理・分析して、分かったことを自分の言葉でまとめたり表現したりすることが苦手な児童が多い。(3年)
- ・ グラフや資料を活用して、報告文や新聞等を作成することに苦手意識をもっている児童も少なくない。(3年)
- ・ 課題をとらえやすくする導入の工夫や新聞作りなどの活動を通して、学んだことをさらに定着させる必要がある。(4年)
- ・ 資料やグラフから情報を正しく読み取る力が弱い。また、社会科用語が定着していない。(4年)
- ・ 与えられた資料から読み取る力が弱く、必要となる情報を学習の中で効果的に活用できていない。自分に必要な情報などを分かりやすく書き、ノートにまとめ、オリジナルのノートを作ることができるようにしていきたい。(5・6年)



2 大田区学習効果測定の結果について

(1) 達成率(同一集団の経年変化)

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
第4学年	・「市の様子」と「安全なくらしー事故や事件」では、目標値を下回っている項目が多く、課題がある。	・目標値を大きく下回る。「安全を守る働き」「買い物調べ」に課題がある。	「安全なくらしー火事」の問題が4項目中2項目で目標値に達しておらず、課題がある。
第5学年	・目標値をやや下回る。全体的に資料の読み取りについて苦手さが見られる。	・目標値を大きく下回る「暮らしをささえる水」の「ダム」に関する問題に課題がある。	・目標値を大きく下回る。特に「地図の見方」「都道府県の様子」に課題がある。
第6学年	・「水産業」と「日本の工業」では、目標値を下回っている項目が多く、課題がある。	・目標値を大きく下回る。特に「地形の位置や名称」「情報を生かした産業」に課題がある。	・全ての項目で目標値を下回っている。特に「日本の工業生産」に課題がある。

(2) 令和7年度の結果分析（観点別）

・4学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・地図記号の理解が不十分。既習事項の定着が課題である。 ・警察の仕事についての、理解が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料をもとに考えを表現する問いが、目標値を大きく下回っている。 ・グラフや資料の読み取りを繰り返し行い、理解度を上げる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を読み取る問題になると、目標値より低い。 ・自ら考え、粘り強く取り組む力が必要である。

・5学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・「八方位」についての理解や資料の読み取りに苦手さが見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の資料をもとに考えを表現することに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記述の問題に対しての取り組み率が低い。

・6学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・国土についての全般の理解が大変弱い。既習事項の定着が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能面ほどではないが、資料を基に判断する力がやや弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記述問題になると無回答率が上がってしまう。 ・自ら考え、粘り強く取り組む力が必要である。

3 授業改善のポイント

・中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>3年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図記号と名称が知識として定着するよう、小テストなどを繰り返し実施する。 ・知識の定着のために適宜地図帳を用いて、四方位を確認する。 	<p>3年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをまとめやすく、また分かりやすく発表することができるように、写真や地図などの提示資料を精選する。 ・個人で見学して気付いたことや分かったことを発表したり、話し合いの機会を設定したりして、考えを整理して表現できるようにする。 	<p>3年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT 機器や映像資料などを効果的に活用し、児童の関心・意欲を高める。 ・「見る・知る・さわる」などの体験的な活動を増やし、実体験から学習を広げられるようにする。
<p>4年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい学習内容では、既習内容と関連付けながら学習に取り組む。 ・前時の振り返りで、学習内容を確かめ定着を図る。 	<p>4年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の最後に新聞づくりやパンフレットづくりなど既習内容を活用したまとめを行う。 ・教科書やインターネットから見つけた資料などを効果的に活用できるように資料の精選を行う。 	<p>4年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の中で資料を読み取る活動を取り入れ、資料の見方や必要な情報を得る力を伸ばす。 ・学習内容や社会科見学等での学習を生活と結び付けられるよう計画を立てる。

・高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>5年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八方位などの語句については、繰り返し語句を身に着けるとともに、身近なことに結び付けながら社会科的用語を理解していく。 	<p>5年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段の授業から、資料集などを用いて資料からわかることを読み取る活動を多く取り入れる。 ・ペアや小グループでの意見交換、話し合いを通して、自分の考えとの差異を見付け、多角的な視点で物事を考えられるようにする。 	<p>5年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的事象を自分事として捉え、問題に対して予想し、調べたことから自ら考え、問題を解決していく活動を取り入れる。 ・単元の最後など、節目において自分の言葉でまとめる時間を設け、自分の考えを深めたり広げたりする習慣を身に付ける。
<p>6年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元後には、学習を振り返ることができるように復習を行い、既習事項が理解できているか確認する。 ・関連する掲示を適宜行う。 ・おさえるべき、最重要社会科用語は確実に板書し、ノートに書き覚えられるようにする。適宜、デジタル教科書などで写真や動画などを見て、確実に内容を理解できるようにする。 	<p>6年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図帳などの補助教材は常に身近に用意し、学習の中で意図的に活用していく。(日本地図や歴史年表なども掲示する。) ・資料の読み取りは、資料から何が分かるかだけでなく、グラフや表の見方や考え方を意識させるようにしていく。 	<p>6年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞、ポスター、自作年表など単元のまとめ方を工夫する。まとめかたは単元の導入や中盤までに児童と合意形成を図り、単元の学習が自分事になるようにしていく。 ・オリジナル歴史検定などを実施して、意欲的に学習できるようにする。